

特別救助隊が技術訓練を実施しました！

当消防本部では、台風等の大規模風水害に対応する津波・大規模風水害対策車（緊急消防援助隊登録）を保有しており、この車両の後部（格納部）には、がけ崩れ等の土砂による悪路環境で走行可能な特殊車両（水陸両用8輪バギー）が配備され、災害時はこの車両を活用し一刻も早い現場到着と人命救助活動を行います。

特別救助隊は、令和4年9月13日、14日の2日間、利府町の宮城県総合運動公園（グランディ・21）の敷地内において、台風や大規模な土砂災害時に「安全かつ迅速な活動」及び「特殊車両が持つ能力（悪路走破・機動性）の確認及び活用技術の向上」を目的に技術訓練を実施しました。

訓練は両日ともに、水陸両用バギーの走行訓練と資機材の取扱い訓練の2項目を実施し、水陸両用バギーの走行訓練は、斜面、段差走行やスラローム、急制動などの訓練を入念に行いました。また、資機材の取扱い訓練は、救命索発射銃（誘導ロープを弾体に取り付け遠くへ発射できる銃）の実射撃訓練を行い、参加した各隊員は両訓練を通じ、資機材の性能・能力等を確認するとともに、災害活動で活用する技術の向上を図りました。

特別救助隊は今後もあらゆる災害に対応し、地域の皆様へ更なる「安心・安全」を提供できるよう努めて参ります。



津波・大規模風水害対策車

※内部に水陸両用バギーが格納されています。



水陸両用バギー（斜面・不整地走行訓練）



水陸両用バギー（段差走行訓練）



救命索発射銃取扱い訓練（実射撃）

※河川の対岸にロープを係留する場合などに使用し、最大射程は8.5mほど飛びます。

お問い合わせ先

塩釜地区消防事務組合消防本部
警防課消防係 ☎022-361-1620

